

「赤字」というマジックワード

本当に「仕方が無い」のでしょうか？

この度、お中元・お歳暮の個人目標が廃止されました。国労としては長年の要求が実現し、成果が出た形となりました。

経緯として郵政の問題が関係していると考えられます。社員が自腹で購入した年賀状を換金したり、物販カタログの商品を購入するなどの自爆営業が社会的な問題となり、郵政ではそれらのノルマは廃止されました。

皆さんも似たような話を耳にしませんか？お中元・お歳暮を贈る相手がいず、パン屋の金券を自腹で購入したり、過去には2枚切符を買って金券ショップで換金する等して、目標金額を達成する社員も少なくありませんでした。そうす。これらは我らがJR九州で行われていた（行われている）話です。

社会的に無理なノルマ設定が明るみになり、問題視され初めて我が社も重い腰を上げた形となりましたが、これは会社も間違いを認めたといえるのではないのでしょうか？

これまででは、購入金額が「目標」に達していない場合、面談時に上司から、「やるべきことはきちんとやりなさい」と言われてきましたが、その根拠は、個人の倫理観に基づくものではなく、単純に会社の言うことには逆らえないという「忠誠心」によるものだったのでしょうか。

自分の頭で考えましょう

会社はコンプライアンスを重視すると言っていますが、会社のコンプライアンスとは本来、会社における全ての行動・仕事全てが世の中に出たとき、堂々と申し開きができることです。

今回の個人目標廃止は、郵政の問題があり、慌てて我が社も目標を廃止したと思えないタイミングでしたが、明るみに出なければ問題ない」とでも考えていたのなら、それは重大なコンプライアンス違反だと考えられます。

職場では「文句を言っても何も変わらない」会社が決定したことで「だから仕方がない」という声が聞かれますが、これは、ルール違反の承認であり、スポーツに例えるなら、選手が反則をしても「ファウル」を取られない試合が競技として成立している状態と変わりません。あなたは、不公平な「ゲーム」を成立させていませんか？

「鉄道は赤字だから」という理由で協力を求めますが、家計が「赤字」になるのは問題ないのでしょうか？



会社がいうことの全てが正しい筈がありません。



若い力

第 129 号

2019年 12月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515